



整理番号	HT26171	分野	農学	(キーワード) 土壌、吸着
------	---------	----	----	---------------

## 名城大学

### 土から見えてくる植物をはぐくむちからと環境問題

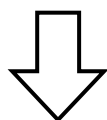
先生(代表者)	村野 宏達(むらの ひろたつ) 農学部・准教授			
自己紹介	小学生の頃から、漠然と農業と環境に興味を持っていました。高校3年生の時、石 弘之著「地球環境報告」を読み、環境問題の解決のためには、農業により人々が食べられることが重要であるとともに、環境と農業にとって土壌がとても重要であることに気が付かされました。以来、土壌を中心とした環境問題を解決しようと取り組んでいます。			
開催日時・ 主な募集対象	平成26年 7月26日(土)	(対象)	高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	名城大学 天白キャンパス 共通講義棟北 N002 実験室		(集合時間)	9:30
開催会場 (集合場所)	名城大学(天白キャンパス) 住所: 〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口 1-501 アクセスマップ: <a href="http://www.meijo-u.ac.jp/about/access/index.html#content01">http://www.meijo-u.ac.jp/about/access/index.html#content01</a>			
<b>内 容</b>				
地球には森や草原があり、様々な動植物が暮らしています。この生態系をささえる植物が育つためには、土の持つ養分などを引き付ける性質が必要です。この土の性質は作物の生産にとっても重要です。また、土は木や草、作物をはぐくむものを引き付けるだけでなく、ダイオキシンや放射性セシウムなどの汚染物質も引き付けます。土のものを引き付ける性質を調べ、未来の農業や環境問題を解決する研究の一步をふみ出しませんか！				
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>	
9:30~10:00 受付			筆記用具	
10:00~10:30 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)			土壌(受講の1週間以上前に採取し、日陰の新聞紙上にひろげて乾燥させたもの)	
10:30~11:10 実験1「土壌の違いを知る」			<b>特記事項</b>	
11:10~11:20 休憩				
11:20~12:00 講義「土壌の吸着機構について」				
12:00~12:40 昼食				
12:40~13:30 学内施設見学				
13:30~15:00 実験2「有機化学物質・無機化学物質の吸着実験」				
15:00~15:20 クッキータイム				
15:20~16:20 まとめ、修了証授与式、アンケート記入				
16:20 解散				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	名城大学 学術研究支援センター・井口 崇
住所：	〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口 1-501
TEL 番号：	052-838-2035
FAX 番号：	052-833-7200
E-mail：	tokimeki@ccml.meijo-u.ac.jp
申込締切日：	平成26年 7月 4日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
村野 宏達	H23-24	若手研究 (B)	23780342	土壌中の疎水性有機化学物質の存在形態解析に対する新たなアプローチ



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。